

## 第1回実行委員会 レジюме 抜粋

### 第24回自治労青年女性中央大交流集会の開催要綱（案）

#### 1. 開催日程等

①開催日 2024年6月14日（金）～16日（日）【予定】

②会場 山梨県 山中湖「きらら」

③集会規模 1500人程度

④参加体制

- ・ 全県本部・単組の青年部・女性部役員を中心に公共民間や非正規の仲間も含めて幅広い職種からの参加を要請します。

⑤スローガン

「交流し、まなびあい、あらゆる合理化を跳ね返し、地方自治確立にむけ産別闘争を組織しよう！」

#### 2. 目的・方向性

私たち自治労に集う仲間の賃金・勤務労働条件は、この間の人員削減・賃金合理化により、一層厳しいものになっています。その合理化の背景には、経済財政諮問会議や「骨太の方針」をはじめとする企業・資本側の利潤最大化と政治が一体となった体制的な動きがあります。企業・資本側の都合の良いように政治の方向性が決められ、自治体への地方交付税の削減、社会福祉の切り捨て、共助・助け合いの社会から自己責任を強いる社会に私たちは生きています。

将来への不安や日々の暮らしすらままならず、限られた人員や厳しい自治体財政事情の中で、一生懸命働く私たち公務労働者がいます。到底1人でこなすことは困難な、不条理ともいえるような業務量を任せられているにもかかわらず、職場社会の課題としてとらえることができず、自分の能力の問題としてとらえてしまう仲間や、労働組合に結集し闘うことすらままならない仲間の実態があります。しかし、全国の仲間との学習・交流をつうじて、「苦しい中であっても声を上げることが大切だと気付いた。声を上げないと変わらないのだとも思った。」「全国にはあきらめずにたたかっている仲間がおり勇気づけられた」などの声が出ています。そういった仲間の取り組みに学びあうことや、討論によって得た気づき、そこから生まれる思いや不条理への怒りこそが、単組、県本部の運動の原動力となります。また、各県における仲間の運動の強化こそが産別組織全体の強化にもつながります。

私たちがめざす安心して働き続けられる職場・暮らせる地域・社会の実現のため、全国の仲間との学習・交流から、各職場に起きている問題や多忙化の背景にある政治的・社会的な動きを自分事としてとらえ、自分たち公務労働者に何が起きているのかを見抜き、生活・職場実態討論と仲間の思いに依拠したゆずれない要求を確立し、おかしいことにおかしいと声を上げる単組・県本部運動の強化をはかり、産別全体の闘争を組織します。

#### 3. 取り組みスケジュール 別紙のとおり

#### (4) 各県実行委員会体制の早期設立

各県本部中央執行委員長を実行委員長とし、各県実行委員会体制を確立します。